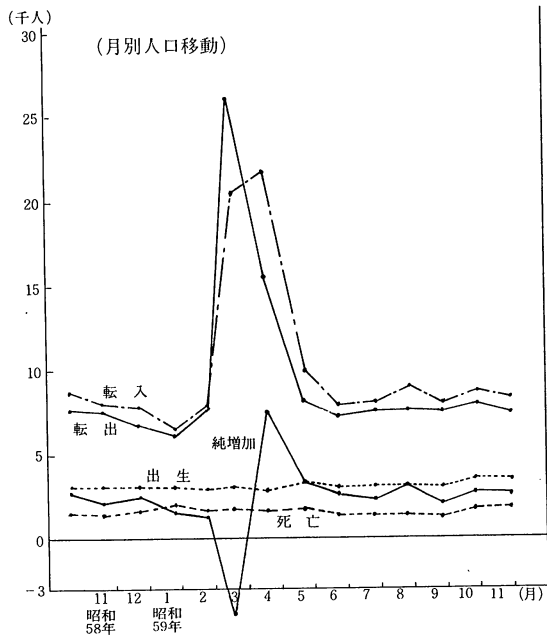
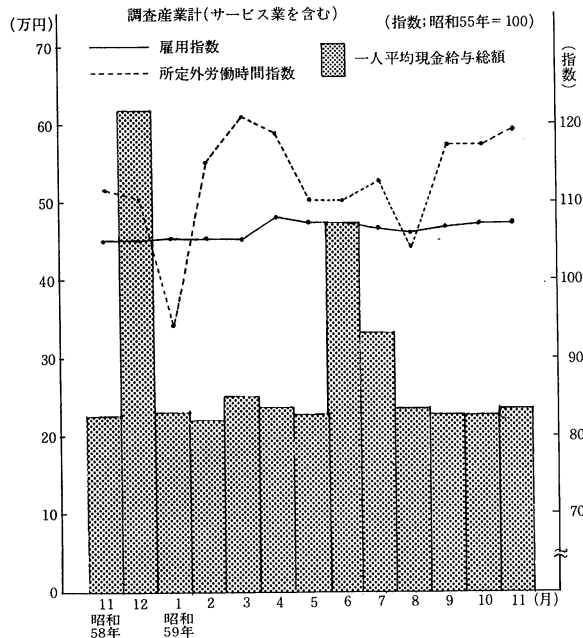


今月の主な動き

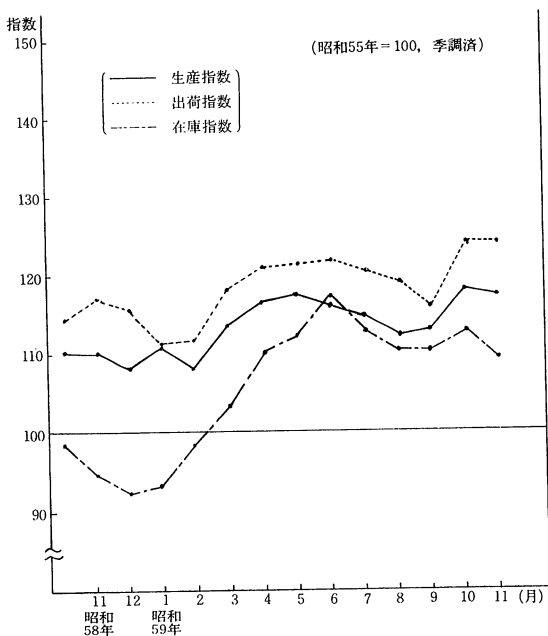
人 口



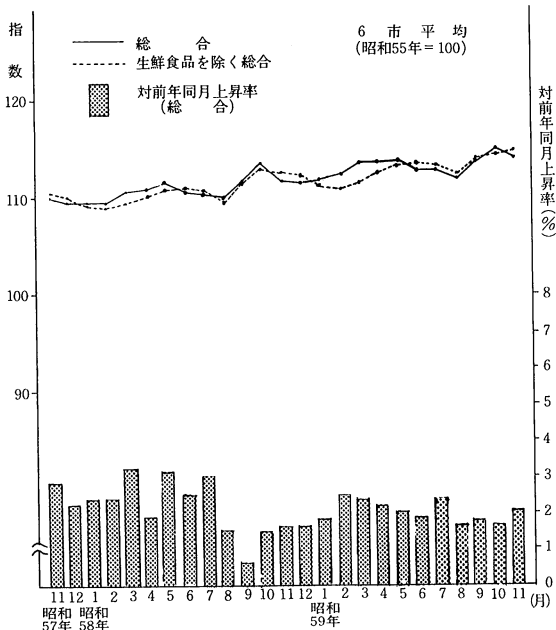
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

■ 人 口 (12月1日)

本県の人口は、11月中に2,362人増加し、12月1日現在で2,695,687人になった。一昨年12月1日現在と比較すると25,834人(0.97%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,551人(出生2,928人、死亡1,377人)、社会動態で811人(転入8,218人、転出7,407人)の増

加である。

市町村別では、増加16市53町村、減少1市18町村、増減なし1市3村である。

世帯数は838世帯増加して750,681世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (11月)

1. 平均賃金の推移

11月の常用労働者1人1ヶ月平均現金給与総額は228,455円で前月に比べ1.6%増(前年同月比6.2%増)であった。

このうちきまって支給する給与は222,751円で前月に比べ0.6%増(前年同月比4.2%増)であり、特別に支払われた給与は5,704円で前年同月に比べ4,431円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は183.7時間で、前月に比べ1.7%増(前年同月比2.6%増)であった。

このうち所定内労働時間数は165.2時間で、前月に比べ1.7%増(前年同月比2.1%増)であり、所定外労働時間数は18.5時間で、前月に比べ1.7%増(前年同月比7.0%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.8で、前月に比べ0.2ポイント増、前年同月に比べ1.5ポイント増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (11月)

昭和59年11月の本県の“鉱工業指数、(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が118.8、出荷が123.7、在庫が109.6で、前月比は、生産が△0.3%、出荷が△0.2%、在庫が△2.7%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が8.1%、出荷が5.6%、在庫が19.0%の上昇であった。

生産を業種別にみると、金属製品、鉱業、石油・石炭製品等が上昇し、鉄鋼、化学等が低下した。

出荷を業種別にみると、窯業・土石製品、石油・石炭製

品、その他工業等が上昇し、一般機械、鉄鋼等が低下した。

在庫を業種別にみると、その他工業、一般機械、輸送機械等が上昇し、食料品・たばこ、鉱業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。在庫では、建設財、資本財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (11月)

昭和59年11月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で114.4(昭和55年=100)となり、前月比(-)0.5%の下落、対前年同月比(+2.2%の上昇となった。

今月上がった主な項目……理美容用品(+2.3%、身の回り用品(+2.3%、交通(+2.2%

今月下がった主な項目……果物(-)10.4%、野菜・海草(-)9.2%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	114.4	△0.5	2.2	保健医療	113.5	0.0	5.3
食 料	113.7	△1.7	2.3	交 通 通 信	109.6	0.4	2.3
住 居	113.8	0.0	1.2	教 育	134.3	0.0	5.3
光熱・水道	109.2	0.0	0.4	教養娯楽	114.6	△0.3	1.1
家具・家事用品	108.3	1.2	3.0	諸 雑 費	114.2	1.0	1.6
被服及び履き物	120.6	0.2	1.7	生鮮食品を除く総合	114.9	0.1	2.1